

神辺高等学校の食品科学系列の生徒が、探究活動の一環で 神辺小学校の児童にパン作りを教えています！

神辺高等学校食品科学系列の生徒が、12月8日（月）に課題探究の授業の中で神辺小学校の家庭科クラブの児童32名にパン作りを教えます。第1回目を11月17日（月）に実施しており、今回が第2回目になります。

生徒たちは、パンの種類・パン生地の保存方法・作業効率等を考えながら、作業工程を2回に分けて計画を進め、地域の子供たちとパン作りを通して交流を図ります。

- 1 日 時 令和7年12月8日（月）14：30～15：10
- 2 場 所 神辺高等学校 食品製造実習室（福山市神辺町川北375-1）
- 3 経 緯 コロナ禍以降、学校行事が減少し、食品科学系列の活動を知ってもらえる場が少なくなったことをきっかけに、本校生徒が、地域交流を通じて食品科学系列の活動を広く知ってもらいたいと思い、探究活動を始めました。
そうした中で、小学校のクラブ活動を通して地域とつながり、食品科学系列の特性を生かした学びを小学生に伝えることができるのではないかと考え、今回の活動に繋がりました。
- 4 内 容 第1回目では、本校生徒があらかじめこねて一次発酵を終えたパン生地を、神辺小学校児童が花の形に成形する作業を楽しみながら行いました。その後、成形した生地を一旦冷凍保存しました。
今回は、冷凍生地を解凍して二次発酵を終えたものに、児童が卵液を塗って焼成します。児童は、自分たちが形作った『お花パン』が実際に焼きあがるのを楽しみにしています。
- 5 参加者 ・福山市立神辺小学校 家庭科クラブ（4～6年生）32名・教員3名
・神辺高等学校 食品科学系列（3年生）課題探究食品グループ7名



<第1回目（令和7年11月17日）にパンを成形している様子>